

# 彩の歳時記

平成 二十四年 十月

天の原 ふりさきみれば 春日なる 三笠の山に 出でし月かも

あべのなかもろ 安部仲麻呂【698～770】

「大空を振り仰ぎ見ると美しい月が出ているが、あれは故郷・春日の三笠の山に出た月と同じ月だろう。」日本人に最も知られている歌の一つで、教科書に必ず採り上げられています。

作者の安部仲麻呂は、十六才で留学生(後に遣唐使)として唐に渡り、要人に重用され、帰国が許されなのまま三十年近く滞在、後に帰国途上で嵐に遭い、再び長安に帰り、唐の地で亡くなりました。拉致から四十年余りが過ぎ、現代も同じ状況が存在します。今年の十五夜(仲秋の名月)は九月三十日、十三夜は十月二十七日です。

遠く離れた処にいても、同じ月を見ているという情感は時を超えて、今も心に響きます。



## 十月の異称

神無月 かんなづき

神を祭る月で「神の月」とする説が有力。「無」は水無月と同じく「の」を意味。

俗説に

全国の神々が出雲大社に集まり、諸国に神がいなくなるので「神無月」他に「時雨月」。

## 十月の暦

一日

衣替え 日本の伝統的風習の一つ。年に二回、六月と十月。制服のある学校や官公庁で行われている。着物は、多くこの風習を踏襲している。この日からが袷(あわせ)、六月一日～三十日と九月一日～三十日までが単衣(ひとぎ)、七月、八月が薄物(うすもの)。



都民の日 1998年のこの日、特別市制が廃止、東京市は一般市となった事を記念して

1952年「都民の日条例」が施行された。都内各市区町村立の小・中・高校は休校 都管理の博物館・美術館・庭園等は、同日に限り入場料を無料。



八日

寒露 かんろ【二十四節気】秋の長雨が終わり、草花に冷たい露が宿る頃。北では初氷、東では紅葉が。体育の日 昭和39年10月10日のオリンピック東京大会を記念して、国民がスポーツに親しみ健康な心身を培う趣旨で国民の祝日に制定。各地で記念イベントが開催される。

## 芭蕉忌

「芭蕉忌や遙かな顔が吾を目守る／中村草田男」新暦では十一月二十八日。



松尾芭蕉【1644～1694】の忌日。蕉風と呼ばれる芸術性の極めて高い句風を確立し俳聖として世界的にも知られる日本史上最高の俳諧師の一人。

秋深き隣は何をする人ぞ 名月や池をめぐりて夜もすがら 物いへば唇寒し秋の風

二十日

皇后誕生日 78歳の誕生日。昭和九(1934)年、東大病院で誕生され、昭和三十四(1959)年四月十日、明仁親王と結婚、明治以降初めての民間出身の皇太子妃に。被災者に対しての優しい眼差しや態度が、多くの国民の支持を得ておられる。



二十三日

霜降 そうこう【二十四節気】霜が降りる頃。北から紅葉前線が徐々に日本列島を染めてゆく。

二十七日

十三夜 日本独特の風習。平安貴族が月を見て詩歌を詠んだのが始まり。月見団子・里芋・枝豆・栗など供えます。

三十一日

ハローウィン(万聖節) 二千年前のケルト人の行事に由来。秋の収穫と先祖の霊を忍ぶ。キリスト教に採り入れられ。今はクリスマスに続くアメリカの祭事。

## 十月の歌

遠き山に日は落ちて 詞 堀内敬三【1897～1983】

ドボルザーク【1841～1904】が、新世界アメリカ滞在中(1892～1895)に作曲した最後の交響曲第8楽章『新世界から』冒頭のメロディー。アメリカの黒人音楽が故郷ボヘミアの音楽に似ていることに刺激を受け、「新世界アメリカ」から故郷ボヘミアへ向けて作られた作品だと言われている。コンサートで最も頻繁に演奏されるレパートリーの一つ。ベートーヴェンの交響曲第9番『運命』、シューベルトの交響曲第7(8)番『未完成』と並んで「3大交響曲」と呼ばれることもある。

遠き山に日は落ちて  
星は空をちりばめぬ  
きよわのわざを  
なし終えて  
心軽く安らえば  
風は涼し  
この夕べ  
いざや楽しき  
まどいせん